

商品構成

主要機器



アクティブ RFID タグ
 サイズ: 82L×42W×30H(mm)
 重量: 約 100g
 動作環境: -25 ~ 60℃



リーダー (受信機)
 サイズ: 280L×280W×130H(mm)
 ※アンテナ除く
 重量: 約 3kg
 電源: AC100V
 通信: LTE



リピーター (中継器)
 サイズ: 180L×105W×28H(mm)
 ※アンテナ除く
 重量: 約 200g
 電源: AC100V

レンタルラインナップ



**SP11 型プラスチックパレット
 (片面使用二方差し)**
 サイズ: 1,100L×1,100W×144H(mm)
 材質: PP(ポリプロピレン)
 本体重量: 23.4 ~ 25.4kg ※タグ除く



**SP11 型プラスチックパレット
 (片面使用四方差し)**
 サイズ: 1,100L×1,100W×150H(mm)
 材質: PE(ポリエチレン)
 本体重量: 17.3 ~ 19kg ※タグ除く



**SP11 型プラスチックパレット
 (両面使用二方差し)**
 サイズ: 1,100L×1,100W×144H(mm)
 材質: PP(ポリプロピレン)
 本体重量: 24.8 ~ 27.5kg ※タグ除く



**SP12 型プラスチックパレット
 (片面使用四方差し)**
 サイズ: 1,000L×1,200W×150H(mm)
 材質: PE(ポリエチレン)
 本体重量: 22.4 ~ 24.2kg ※タグ除く



**SP14 型プラスチックパレット
 (両面使用二方差し)**
 サイズ: 1,100L×1,400W×140H(mm)
 材質: PP(ポリプロピレン)
 本体重量: 33.5kg ※タグ除く



40 型
 内寸法: 595L×785W×1,445H(mm)
 外寸法: 650L×855W×1,694H(mm)
70 型
 内寸法: 745L×1,030W×1,445H(mm)
 外寸法: 800L×1,100W×1,694H(mm)

※パレット耐荷重: 1t(静置時 1t積載のパレットを 4 段積みまで可) ※カゴ車耐荷重: 500kg(段積み不可)

在庫・入出庫自動化

スマートパレット®



お問い合わせ



スマートパレット

パレットの動きを見える化し、
効率的なパレット輸送を実現！

スマートパレットは、電波を最大 300m 発信するアクティブ RFID タグと、電波を正確に受信するリーダーを組み合わせたクラウド型パレット管理システムです。アクティブ RFID タグを搭載したパレットやカゴ車の倉庫内在庫や、いつ入庫・出庫したかの管理を自動化します。紛失・滞留の解消や煩雑な紙伝票管理からの解放、物流機器の稼働率アップ等が期待できます。



スマートパレットの仕組み

スマートパレットに搭載されているアクティブ RFID タグが電波を発信し、倉庫や工場等に設置したリーダーが受信します。拠点ごとにデータを収集し、ウェブで一括管理することができます。



スマートパレットの機能・特長

電池寿命
最長 **10年**

読み取り率
ほぼ **100%**

読み取り圏内
最大 **300m**

同時個体認識
約 **50,000** 個

※環境により異なります。読み取りには時間がかかる場合があります。

スマートパレット利用による効果

スマートパレットを導入することで、物流機器の動きをすぐに可視化することができます。そのため、以下のような効果を得られます。



在庫・入出庫管理の自動化

アクティブ RFID タグが発信する電波の受信データを元に、倉庫や工場等における拠点ごとの在庫や拠点間の入出庫管理を自動化します。



棚卸の自動化

拠点ごとの在庫状況をリアルタイムに把握できるため、人手を介することなく棚卸が完了します。

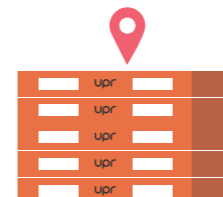


紙伝票による管理からの解放

データはクラウドに保管されるため、オンラインでどこからでも確認できるようになります。パレット管理時の紙伝票への記帳作業を削減します。

収集データを分析することにより得られる効果

スマートパレットを活用し続けると、物流機器の様々な動きに関するデータが蓄積されます。その分析を行うことで、拠点ごとの傾向が見えてきます。傾向を掴み、施策を打つことで以下のような効果を得られます。



物流機器の紛失・滞留を解消

物流機器の動きを見える化することで、紛失・滞留が多発する区間が判明します。そこに対し、紛失防止・滞留抑制のための具体的な対策を講じることで、物流機器の管理レベルが向上し、紛失・滞留の解消につながります。



物流機器利用台数・配置の適正化

物流機器の無駄な動きを削減し、稼働率を向上させることで利用台数の最適化を図れます。また、物流機器を荷動きが激しい拠点には多く、荷動きが少ない拠点には少なく配置する等、配置の適正化も図れます。



効率的なパレット回収網の確立

拠点ごとの在庫状況をリアルタイムに把握できるため、物流機器を回収する際の効率的なルートを確認することができます。



人件費、運用コスト削減

在庫・入出庫管理・棚卸の自動化や紛失削減、滞留抑制、物流機器の利用台数・配置の適正化や回収網の効率化等が、人件費や運用コスト削減につながります。